

株式会社角川ホールディングス 第50期決算公告

平成16年6月22日

東京都千代田区富士見2-13-3

株式会社角川ホールディングス

代表取締役社長 角川歴彦

貸借対照表

(平成16年3月31日現在)

科 目	金 額	科 目	金 額
(資産の部)	千円	(負債の部)	千円
流動資産	13,031,772	流動負債	7,884,148
現金及び預金	4,379,559	短期借入金	3,750,000
売掛金	189,723	一年内返済予定長期借入金	40,000
有価証券	1,299,849	未払法人税等	46,615
繰延税金資産	6,724	未払消費税等	3,118
信託受益権	951,089	預り金	3,806,575
短期貸付金	6,130,000	その他	237,839
その他	74,826	固定負債	1,996,446
固定資産	71,095,257	長期借入金	10,000
有形固定資産	7,348,876	繰延税金負債	1,728,051
建物	3,167,645	役員退職慰労引当金	258,395
構築物	61,199	負債合計	9,880,594
車両運搬具	260	(資本の部)	
工具器具及び備品	572,123	資本金	24,330,565
土地	3,547,648	資本剰余金	25,374,947
無形固定資産	39,078	資本準備金	25,374,947
電話加入権	39,078	利益剰余金	24,349,469
投資その他の資産	63,707,302	利益準備金	567,100
投資有価証券	15,222,712	当期末処分利益	23,782,369
子会社株式	37,290,910	土地再評価差額金	△1,103,499
出資金	466,108	株式等評価差額金	2,672,887
長期貸付金	5,767,359	自己株式	△1,377,935
保険積立金	4,798,684		
その他	427,526	資本合計	74,246,435
貸倒引当金	△266,000	負債及び資本合計	84,127,029
資産合計	84,127,029		

損益計算書

平成15年4月1日から
平成16年3月31日まで

科 目	金 額	
	千円	千円
(経常損益の部)		
営業損益の部		
営業収益		1,333,098
営業費用		
不動産賃貸原価	314,297	
販売費及び一般管理費	633,597	947,894
営業利益		385,204
営業外損益の部		
営業外収益		
受取利息及び配当金	102,776	
受取保険金	207,022	
その他	2,017	311,816
営業外費用		
支払利息	19,320	
出資金運用損	70,236	
その他	22,327	111,884
経常利益		585,136
(特別損益の部)		
特別利益		
投資有価証券売却益	106,559	
貸倒引当金戻入額	27,000	133,559
特別損失		
固定資産除却損	1,345	
投資有価証券評価損	222,780	
会員権評価損	29,000	253,125
税引前当期純利益		465,570
法人税、住民税及び事業税	80,000	
法人税等調整額	51,753	131,753
当期純利益		333,817
前期繰越利益		23,476,572
自己株式処分差損		28,019
当期未処分利益		23,782,369

〔重要な会計方針〕

1. 有価証券の評価基準及び評価方法

- 満期保有目的の債券……………償却原価法（定額法）
- 子会社株式及び関連会社株式…移動平均法に基づく原価法
- その他有価証券
 - 時価のあるもの……………期末日の市場価格等に基づく時価法（評価差額は全部資本直入法により処理し、売却原価は移動平均法により算定）
 - 時価のないもの……………移動平均法に基づく原価法

2. 固定資産の減価償却の方法

- 有形固定資産……………定率法
 - ただし、平成10年4月1日以降に取得した建物（建物付属設備を除く）については定額法
 - なお、主な耐用年数は以下のとおりであります。

建物及び構築物	3～50年
工具器具及び備品	2～15年

3. 引当金の計上基準

- 貸倒引当金……………債権の貸倒による損失に備えるため、一般債権については貸倒実績率により、貸倒懸念債権等特定の債権については個別に回収可能性を勘案し、回収不能見込額を計上しております。
- 投資評価引当金……………市場価格のない関係会社株式等の実質価額の低下による損失に備えるため、対象となる株式の実質価額の低下額を基礎として計上しております。
- 役員退職慰労引当金……………役員退職慰労金の支出に備えるため、内規に基づく期末要支給額を計上しております。
なお、当該引当金は商法施行規則第43条に規定する引当金であります。

4. 消費税等の処理方法……………税抜方式によっております。

5. 改正商法施行規則の適用……………当期から、改正後の商法施行規則の規定に基づいて計算書類を作成しております。

〔貸借対照表注記〕

1. 記載金額は、千円未満の端数を切り捨てて表示しております。
2. 子会社に対する短期金銭債権 5,464,314千円
長期金銭債権 5,633,000千円
短期金銭債務 3,944,368千円
3. 有形固定資産の減価償却累計額 2,691,306千円
4. 担保に供している資産
土 地 963,951千円
5. 投資有価証券は、投資評価引当金80,000千円を控除して表示しております。
6. 土地再評価法に基づき、事業用土地の再評価を行い、土地再評価差額金を資本の部に計上しております。土地の再評価の方法については、土地再評価法施行令第2条第3号に定める固定資産税評価額に合理的な調整を行って算定した価格により算出しております。
再評価を行った年月日 平成14年3月31日
再評価を行った土地の期末における時価と
再評価後の帳簿価額との差額 △410,708千円
7. 商法施行規則第124条第3号に規定する資産に時価を付したことにより増加した貸借対照表上の純資産額は、2,672,887千円であります。

〔損益計算書注記〕

1. 記載金額は、千円未満の端数を切り捨てて表示しております。
2. 当社は、平成15年4月1日に、分社型新設分割の方法により設立した榊角川書店に、出版事業等の営業の一切を承継させるとともに、自らは持株会社に移行いたしました。
これにより、営業収益に関しては、前期までは出版事業等に係る製品等の売上が中心でありましたが、当期からは、子会社からの配当収入、運営費収入、不動産賃貸収入等の収益だけとなりました。
3. 子会社との取引
営 業 取 引
営 業 収 益 1,333,098千円
営 業 費 用 37,707千円
4. 会員権評価損には、貸倒引当金繰入額29,000千円を含めて表示しております。
5. 1株当たりの当期純利益 12円99銭